



さくら、やぶに咲く

SANEMI SINAZUGAWA × GIYUU TOMIYAMA
R18 ADULT ONLY



たふたふら、や<そ<

不死川実弥 × 冨岡義勇



このお話について

- このお話は、キ学を軸にしています
全員が転生者の設定です
- 前作「そうして、手を取りあつて」と
話が続いているように感じられる部分もありますが
別の世界線のお話として描いています
(続きものとしてご覧になってくださっても、もちろん構いません)
- さねぎゆの他、宇髄さんも出てきますが
あくまでもみんなのお兄さんのな立ち位置です

それは何でも無い一言だった

実弥の視線の先には、
見るからに仲の良さそうな、
一組の家族連れ



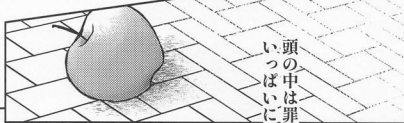


?!

義勇？

その二言を聞いた瞬間

あ！！
義勇軍！！



頭の中は罪悪感と後悔で
いっぱいになった



あれは、自分が奪った
彼の未来なんじゃないか

あれは、本当は彼が持ち得た
幸せの形なのではないか

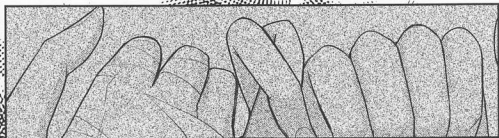




一度溢れ出たその思考は

堰を切ったように流れ出し
止まることはなかった

昔に、前世にみんな約束をしたせいで



また会おう、なんて願ったせいで



心優しい彼を
自分に縛り付けてしまった

こんなのはもう
約束じゃなく
呪いじゃないか



そんなことは
赦されるはず無い
だから

今、なんて？

なんて、言った？
義勇

別れてくれ
別れよう、実弥

今までありがとう
約束なんて言って
縛ってしまっただ悪かった

まるで……
これじゃあ呪いだ

合鍵はここに置いておく
俺の荷物は少ないだろう
捨ててくれて構わない

待て
なあ、なんで

大好きだ、実弥

それは変わらない
どうか、幸せになって

さよなら

カ



せん

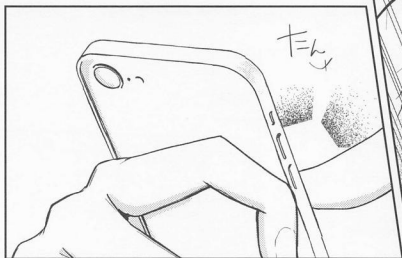


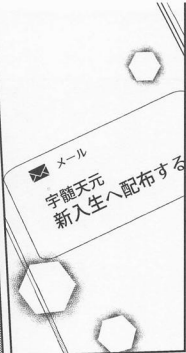


そうして、
から逃げた
義勇は実弥と別れた

それから一週間







あれから、
毎日のように実弥から
電話やメールがきた

「一方的に別れるなんて言わず
きちんと会って説明しろ」と

当然の反応だと思ったが
義勇はその全てを
無視していた

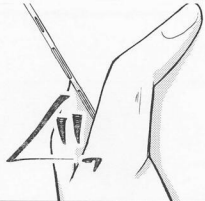
時間が解決すると思
い込んでいたし、
それに――

自分がした前世の
約束のせいだ

お前の人生を
縛ってました、
だなんて言っても

実弥はそんなことないって
言うだろう、優しい男だから

ヒッ



だから
話すことなんて
何もないんだ

何も……



美術準備


よお、富岡

春休み中のところ
手伝い頼んじゃまって
悪かったなあ









……仕方がない
期待してるような
大した話じゃないぞ

おお、
派手に話しやがれ

はあああああッ!?

別れただあ?!

ああ

いつ??

一週間前

なんで?!



……俺が、実弥を
呪ったから

はあ？
呪い？

鬼も滅んで久しい
現代社会でか

前世で
最期に実弥と
とある約束をした



その結果、
他の道を選べた実弥を
俺に縛り付けてしまった

そう、確信したのが
一週間前だ



だから
『呪い』ねえ
それで
理由も言わずに
別れた、か

そりゃあ不死川も
荒れるわけだ

トク





宇髓

誰も来ないから
おれはやる

!!!

久しぶりって
いうべきか？



一体
なんで、
ここに……

散々、逃げ回って
くれやがってよオ

話がしたいっていうのも
全部、無理しやがって



実弥……？
一体何を言ってる……

俺には何も言えねえか？
記憶が無いから、

宇髄たちと違って
何も覚えてねえから

実弥が頼りないなん
あるわけ無いだろ

じゃあなんで！

そんなに俺は
頼りねえか？



じゃあ、なんで
なんで勝手に別れるなんて
そんなこと言ったア……？

なんで、俺から
離れていこうとするんだ

いや、離れるのは
最悪、いい……
それで義勇が幸せなら



でも、それなら
納得できるだけの
理由を教えてください

……義勇にとって
『あの約束』は
重荷だったか？

アノヤクソク

……ここで今すぐに
するような
話でもないだろう

日を改めよう
幸い今は春休み中だ
時間は取りやすい

今はまず
書類整理をしないと

あの約束はもう果たされた
もう縛られてほしくない

今はまずこの場を
どうにか乗り切らないと

書類？
ああ

急ぎじゃねえから
放っておけ

それとも何かア？

一刻も早く逃げ出したいほど
俺と話はしたくねえかア？

違う、話をしたくない
なんてことは、無い

話すことが
なにもないだけ、だ

話すことがない？

別れるって言い出した
その理由も結局、
俺には言う必要が
ねえってことかア？

……そうだ

聞かせるような
話は何も無い

宇髄には
話せたみてえだけど？

俺には言えねえかア

結局、俺は
俺が約束しか
覚えてなかったから

それ以外何も
持っていないから
信用しきれねえんだろツ

違ッ！
記憶の有無なんて
関係ない！

だったらなんでッ！

なんで……

違う、違うんだ

そんな表情かおを
させたかったんじゃない

実弥は何一つ
悪くない

それによって
信用出来るとか否かとか
そんなことはない！

あの、約束が……

不死川にはただ、
ただ幸せになっただけで

ただ、笑っていて欲しくて
ただ、それだけで

約束が『不死川実弥』を
縛り付けてたんじゃないかと
思ったから……

あの約束のせいで
選べたはずの
実弥の未来を
奪ってしまった

もっと色々な未来が
あったはずなのに



たった一つの
あの約束のせいで
すべて奪ってしまった

そんなのはもう
約束なんてものじゃない

ただの、呪いだ



それで、別れたって
いうのか？

それで
全部か？

ああ、……
これで全部だ

どうか
幸せになってくれ
それだけが
俺の今の願だから

そうかよ

ふざけんなよ



さね、み？

約束が縛った？
違う未来もあった？

そんなも
別に前世の有無に関わらず
大なり小なり
人間関係に発生するもんだろ



俺は！
本当に！

他意が無エことくらい
解ってる

それをまあ
俺の気持ち
まるっと無視して

勝手に気を使った
気になりやがって

でもなあ

テメエが俺の幸せを
決めつけるな



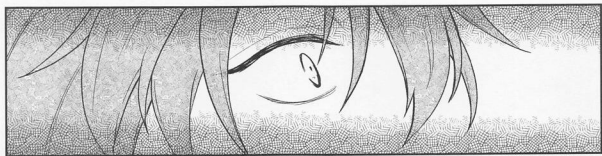
友人として一緒に居ることも
恋人になることも自分で決めた!

確かに
約束はデメエを
探す切欠にはなった

だかなア

それは間違いなく
俺の意志だ!

勝手に俺の幸せを
壊すな!
馬鹿にすんなアツ!



ああ、そうか、
そうだった

あの絶望の最中でさえ
自分たちは僅かな光を手繰って
選び取っていた

たとえ道の始まりが
目を覆いたくなる
凄惨なものだとしても

それでも、心の在り方を
在るところを
決めたのは自分だった



……『昔』は
俺も知っていたこと
だったのに

いつの間にか
忘れてしまっていた



そしてそれは、
記憶や約束なんかより
ずっと大切なことで



そうだった
今、思い出した



未来なんて
約束なんかには縛られず
選び取れたんだ

それでも俺たちは、
手をとったんだって

二人で幸せに
なるために



テメエじゃねえと
幸せになんてなれねえ

意味も、無
え

……俺は
義勇の隣以外で

幸せになる気は
無えんだよ……

する……



俺は——



実弥が記憶を
持たなくとも

俺との約束を
覚えていてくれて
すごく嬉しかった

俺との繋がりを
望んでくれていたって
そう、思っ
て

けれど……

心のどこかでずっと
そう考えて
いたんだと思う

それは俺の思い込みで
実は幸せなのは
俺だけかもしれない、と

この前
家族連れを見て
「いいな」って言った
実弥を見たら

「ああ、やはり」と
そう、勝手に
確信して



すまない、
独りよがりだったし
もっと、酷いことをした

ああ、そうだ

は……。

それであの別れ話、か



何でもする
償おう

は……

急になんの前フリもなく
別れ話なんてするから
寿命が縮まったわア……

本当だぜエ



真剣





ま、待て
ちよ、実弥っ

今、学校でコレの
続きしてエッて
言ったら

さねっ
やめッ

させてくれるって
ことだよなア？
何でもするって
いうならよオ

だ、だめ
学校は、ダメだッ

ア



学校は！
ダメだ！

だろう？
だったら、何してもいい
みたいなことは言わねえ

帰るぞ



……は？

急ぎの仕事はないと
さっき言っただろう

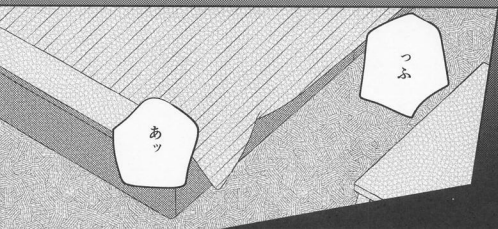
なら、帰るぞ

学校では
無理だが

家でなら
続きも出来るだろう



あーもう
知らねえからなア



あッ

っふ

あ

いい眺めだなア
義勇

ほ

ッ

このの
どこが

ほま
ほま

あつ、ああッ

!!!

んー？
この背中から腰の
ラインとかア？

すげえエロくて
俺は好き

へ、変態
助平ッ

変態とは
心外だな
褒めてんのよオ

それに

何してもいいって
言ったじゃねえかア

騎乗位は
泣いて嫌がるから
譲歩してやったんだ

このくらいは
付き合えエ

っ、
それは
そうだがっ

学校であのまま
壁に手をつかせて
やってみたかったけど

実行したら
お前を殺して
俺も死ぬ

だから、家で
してんじゃねーか

これきりで
いいから

お願いだ
義勇



悪い

その、言い方は
ずるい、ぞ



……なあ、義勇
全部俺のものだって
実感させて

もう、どこにも
行かねえって

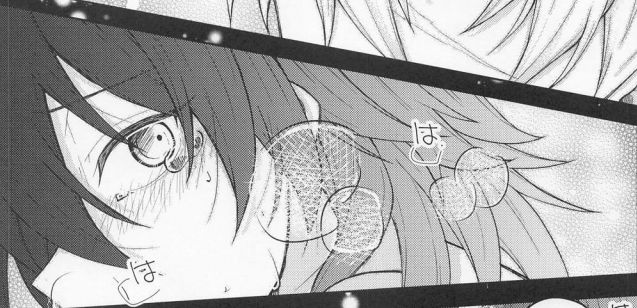
ずっと
俺の側にいるって



義勇のことは
なんでも知って
いたただけだア



こんなエロい姿を
知ってるのが
俺だけって、幸せだ



ほ

ほ



ほま

それは
本当、ズルい

けど

ほま




それで
安心するなら

ほ

存分に、好きに
してくれて
構わない

ほま

そして、それを
俺に、受け止め
させて、くれ



愛され、てるって
そう、思ったら

たまらなく
幸せ、だから

独占してるみたいで
すごい、嬉しい



義勇



有難う
愛してる

俺も、だ
ずっと、愛してる

なにが
あって、も

愛してる、
隣に、いて

ずっと、一緒に

ああ、義勇

ずっと、一緒だ

ずっと



あ

さね、みつ

あたま、おかしく
なる、からっ

ほんと、もうっ
無理、だめっ

イツチャウ
つら、いっ

ああ



一緒にイこうな
義勇

ん、一緒
いっしょが、いっ

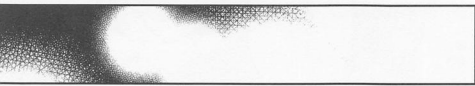
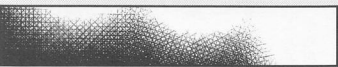


たとえ、
何があろうとも

ああ
義勇

ずっとずっと
一緒だ

もう、
離したりしない







あつぶねえ……

あつ……



竹刀なんて
どっから出したよ

この前の礼だ
受け取っておけ

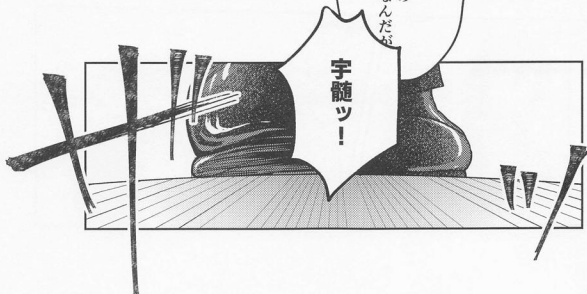
あ、成程
なんかあったのね

（密に）



……まあ、だが

おかげで
仲直りが出来た
礼を言う、宇髄







多分
俺も富岡も

それだと
「前世があるから
相手は自分の隣りに
居るんじゃないか」
って疑念は

ずっとどこかに
しこりとして
残っただろうなア

……そうか
そうだな
富岡は特にそうか

はー

約束や前世に
縛られることなく

今の自分達が
お互いを選び取ったって
分かり合うための
いい機会だったって
そう、思う

結果論に
なっちゃまうけどよオ

……同じこと
いうのなあ
お前ら

派手に息ピッタリで
逆に引くわ

あ？

まあ、でも
もう『約束』は
要らなさそうだな

——
約束？

『俺』が
『お前ら二人』と
最期にした約束



……ああ、そうだな
有難うなア

いいってことよ
ちゃんとお前らが
幸せになったんだ

見守り役も
もう要らねえだろう

ま、相談になら
いつでも乗るけど

それ
高くつくだろうオ

VIVID

様子を見に来たんだが
どうだ？

終わりそうか？

富岡

ちょうど終わった
ところだア

タイミングが
いいな

さて
俺も美術室に
戻らねえと

宇髓

茶菓子があるが
宇髓も呼ばれていかないか

いや、このあと
ちょっと用事があるんだわ

悪いな
また誘ってくれ

そうか
じゃあまた今度

おう、またな



良かったな
『二人とも』

今度こそゆっくり
幸せになつてくれ



おわり

この度は、お手にとってくださってありがとうございます。
転生モノで、片方の前世の記憶があやふやの場合、この三人なら
どうするかな、というところからスタートしたお話でした。
約束に縛られて、それでもそれを打破して新たなスタートを切る、
『今』を生きることを選ぶ、そういったこと三人の紆余曲折を
見守っていただけましたら幸いです。
ありがとうございました。

★この本は、個人的に作られた非公式ファンブックです。
この本は同好者の間だけで楽しむために作られた二次創作の同人誌です。
原作者様・出版社様とは一切関係ありません。

★取り扱いについて
無断転載・翻訳・複製・複写・インターネット上への掲載(SNS・ネットオークション・
フリマアプリ含む)は禁止です。

二次創作をご存じない一般の方や、関係者様の目に触れぬようご配慮お願いします。
公共の場での閲覧はご遠慮ください。転売は禁止です。
ネットオークション、フリマアプリでの転売はご遠慮ください。
処分する際は同人誌専門の中古書店に売却していただくか、
中身が分からない状態にいただいた上で可燃ゴミとして廃棄してください。

- ◆発行日：3月21日
- ◆サークル：アプセトネデブ(いちか)
- ◆発行責任者連絡先：hanaserebu.new@gmail.com
- ◆印刷会社名：大陽出版(株) 様



←マシュマロはこちら
よろしければ感想など頂けると
中の人が元気になります



